

大学院特別講義／シグナル伝達医学講演会



脳脊髄障害後の 神経回路の再編と機能

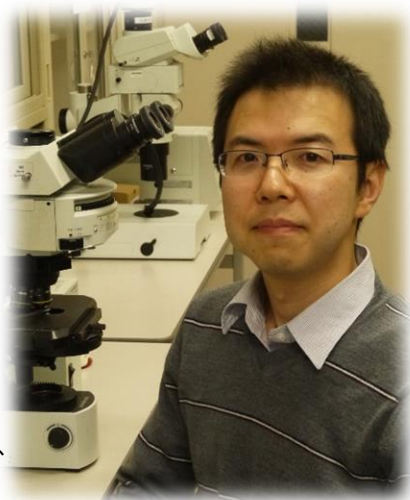
Rewiring of neural circuits following brain and spinal cord injury

日時：2018年11月22日（木） 17:00～

場所：研究棟B 2階 共同会議室

新潟大学脳研究所 システム脳病態学

特任教授 **上野 将紀** 先生



血管障害や外傷により脳や脊髄が障害されると、神経回路が破綻し重篤な機能障害を引き起こします。機能の回復をもたらすには、破綻した神経回路の再建が必要ですが、成体において回路が再生する能力はとぼしく、これら障害に対する有効な治療法は未だ確立されていません。一方で、失われた機能は障害後、一定の程度 of 自然回復を示したり、あるいは逆に増悪したりと変容することが知られています。私たちは、

運動や自律神経、免疫制御をつかさどる神経回路を例に、障害から逃れ残存した神経回路が代償的に変化・再編し、各機能の回復過程を大きく変容させていくことを見出してきました(Ueno et al., Brain 2012; Nat Neurosci 2016)。本セミナーでは、神経回路が神経細胞種レベルにおいてどのようにして接続様式を変化させ、また、再編した回路がどのような機能の変化をもたらすのか、私たちの研究成果を中心に話したいと思います。神経回路の再編機序を理解できれば、正しく回路が作られるよう制御して機能の回復をうながす新たな治療戦略が見えてくると期待されます。

担当：細胞生理学分野 南康博（内線：5561）

主催：シグナル伝達医学研究展開センター

連絡先：研究支援課研究企画係

内線：5195 / MAIL：k9shien@med.kobe-u.ac.jp